



さいとうみつこ

1958年、秋田県生まれ。

詩人・割り箸書画。割り箸を筆代わりにメッセージを描き伝える。1994年臨死体験。「愛の心葉ギャラリー」主宰。

2010年一般財団法人 カミーノあきた 設立。現在は講演会やセミナー活動も行っている。

著書『愛の心葉 書の一』詩集町興し絵本『海から上がったおむすび地蔵さん』秋田県内の昔話や民話を取材し、『世界物語遺産』を提案。地域の資源を活用し「創造力の育成」「秋田弁の伝承」等創作活動中。

ハートメッセージ

<http://www.8810m.com/>

世に知られていない地域の物語を発掘して広く紹介する活動に取り組む秋田市の一般財団法人「カミーノあきた」(齊藤光子理事長)が、同市新屋の勝平地区の言い伝え「姉妹地蔵」の絵本制

作を進めている。姉妹とされる地蔵2体は実在し、絵は同市立勝平小学校の児童が描いた。絵本はあす24日、同地区の勝平寺で同法人が開く「心のエコ・ピース芸術文化祭」で発表される。

言い伝え 絵本で伝承

勝平地区の「姉妹地蔵」

財団法人と児童制作

あす発表会



絵本のタイトルは「海から上がったおむすび地蔵さん」。2体の地蔵は現在、それぞれ同地区の民家と丘陵の一角に町Ⅱが一昨年、地区のお年寄

から引き揚げられ、姉妹と言い伝えられている。齊藤理事長(52)＝同市新屋松美ガ丘北町Ⅱが一昨年、地区のお年寄

妹が雨ざらしになっていました。妹はおむすびが好きなので、おむすびを供えてくれませんか―と頼んだ。翌日、お年寄りが夢に従っておむすびを供えると、その夜の夢で妹地蔵に感謝されたという。

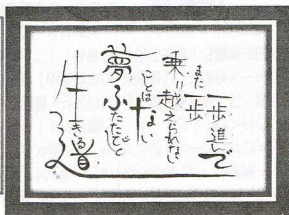
齊藤理事長は、母親の実家が地蔵を引き揚げた網元の家とされていることもあって興味を持ち、夢の話と合わせ、絵本「海から上がったおむすび地蔵さん」の原版を手にする齊藤理事長

地区の伝承をまとめた。「地蔵をめぐる話」には、地元の歴史も盛り込まれている。子どもたちに語り継いでほしいと思った」と齊藤理事長。昨年秋季に勝平小の図書委員に話を聞かせたところ好評だったことから、当時の5、6年生の委員計24人に絵や文の制作に協力してもらった。

絵本は約90ページで、8月上旬に刊行予定。地区の歴史に関する資料や、物語の秋田弁版や英訳、朗読のCDなども付く。24日の発表会では、児童が朗読した音声を流し、9枚の絵がスクリーンで紹介される。

絵本は3500部刊行。全国の図書館に贈るほか、同法人の会員に配布。希望者には1冊2千円で頒布する。(菊池史利)

一歩進んで
 また一歩
 乗り越えられない
 ことはない
 夢ふたたびと
 生きざる道



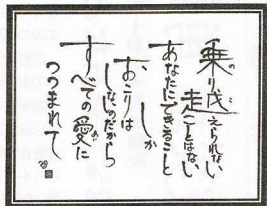
帆船 日本丸

この作品は気仙沼にお住まいの藤田さんから依頼されました。昨年の東日本大震災では、家族6人無事に逃れることができ、今年9月17日にようやく仮設住宅の生活から新居に移転されたそうです。

藤田さんは、気仙沼復興屋台村で2011年「愛の心葉」カレンダーの作品【愛につつまれて】が心に響き、新築の玄関に飾りたいとカレンダーの作者である私、さいとうみつこを探していただいたようです。

藤田さんからご連絡を頂き【愛につつまれて】の拡大コピーのご依頼を受けましたが、せっかくの機会なのでお祝いと鎮魂と復興の祈りを込めて新たな作品としてお届けすることにしました。

※作品はすべて割り箸1本で描きます。



作品【愛につつまれて】

【女神のふなで】は、全体を帆船 日本丸のように描かせていただきました。

航海の無事を祈る女神さまが先端についており、凜として爽やかで、その優雅さに魅了され、表現したいと考えました。

これからの人生という航路…始まりの時という意味も含め、船をモチーフとしました。

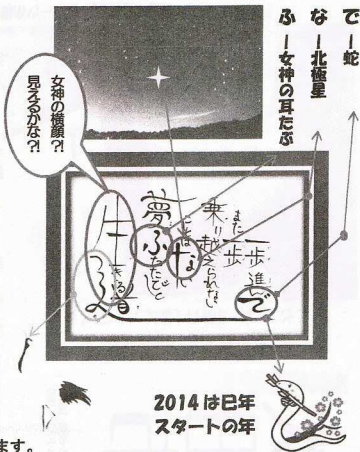
横に太字で「ふなで」と読めるようにタイトルを入れ、全体は日本丸と帆船の先にある女神の横顔をイメージしています。

「ふなで」の「で」は、来年の干支 巳年の蛇のように、「な」は中央に航海の道しるべとして、見失うことのない不動の北極星を輝かせ、「ふ」は左側全体の側面が女神の横顔になったので、飾りをつけた耳たぶのように描きました。

作品【女神のふなで】にふさわしく穏やかな静けさの中に凜とした女神の無償の愛を感じさせてくれます。

道…部首をひらがなのつるをイメージして描きました。つるは鶴・蔓・吊・釣るなどを意味しますが、ご縁のことをつるともいい、他にもどん底からすくい上げるイメージがあります。

一日も早く復興され、心の平和に導かれますようにお祈りしております。
これから、新たなふなでを女神さまが見守られてゆくことを心から願っております。



秋田市

報道部
☎ 018-888-1870
FAX 018-823-1780

カレンダーを手に「被災した人にメッセージを届けたい」と話す齊藤代表



「被災地、勇気づけたい」

児童らのメッセージ入れカレンダー製作

かき 釜石などへ8800部寄贈

支え合おう
東北

秋田からできること

秋田市新屋の一般財団法人「カミノあきた」（齊藤光子代表）は、東日本大震災で被災した人たちへのメッセージを入れた2013年版カレンダーを製作した。きょう28日から、岩手県釜石市と宮城県気仙沼市、石巻市の仮設住宅などに各市役所を通じて計8800部を寄贈する。

同法人は、地域の言い伝えなどを絵本を通じて紹介する活動を行っている。カレンダーの寄贈は昨夏以降、本の読み聞かせや書画体験などのボランティアで3市を訪れた際、齊藤代表が自作したカレンダーを届けたのがきっかけ。来年用のカレンダーに本県からの応援メッセージを載

せようと、秋田市の勝平小の児童や市民ら約3000人分のメッセージを集めた。カレンダーには「応援しています」「いつかきっと笑える日が来る」などのメッセージのほか、齊藤代表が割り箸で書いた「一歩進んでまた一歩 乗り越えられないことはない 夢ふたたびと生きる道」といった書画なども掲載されている。

「被災地では今も生活へ

不安など厳しい現実と直面しており、秋田からのメッセージでも勇気づけたい」と齊藤代表。今後メッセージを募集し、増刷する考えだ。カレンダーは1万部製作。一部は販売する。A4判、2100円。販売収益は全て被災地支援に充てる。問い合わせは同法人 ☎070・6498・7263。メールアドレス caninosier@gmail.com（棟方幸人）

秋田銀行 / 外旭川支店 2階

25年1月10日・11日午前10:00~12:00

第2弾【心の輪】届け隊プロジェクトに

ご協力をお願いします。当日は【女神からの伝言】【愛の心葉】カレンダーにメッセージを書いていただける方もお待ちしております。（筆記用具持参）

割り箸書画で書き初めしましょう!!

「女神のふなで」等縁起の良い作品にしましょう。（材料代実費 500円程度）

皆様の参加をお待ちしております!!

障子紙に
割り箸で
書くよ!!



【お問い合わせ先】⇒⇒⇒⇒

